

経営比較分析表（平成29年度決算）

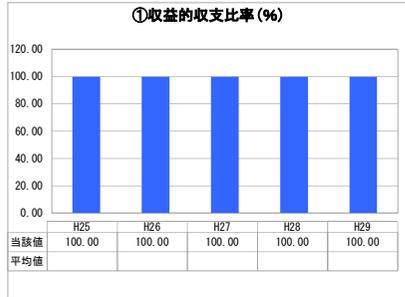
山形県 銚川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.63	100.00	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,329	122.14	35.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
27	0.01	2,700.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



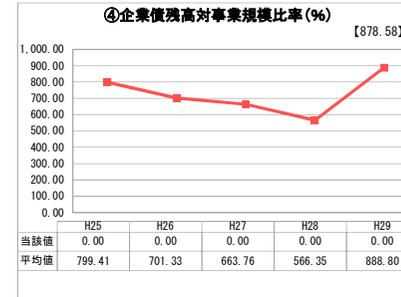
「単年度の収支」



「累積欠損」



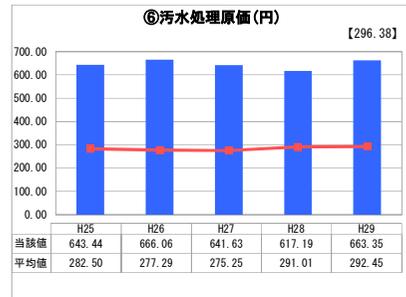
「支払能力」



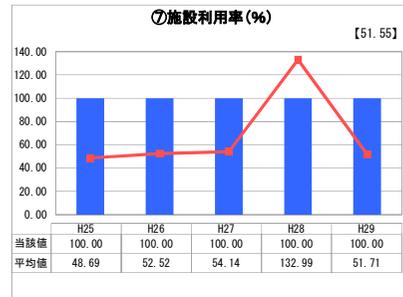
「債務残高」



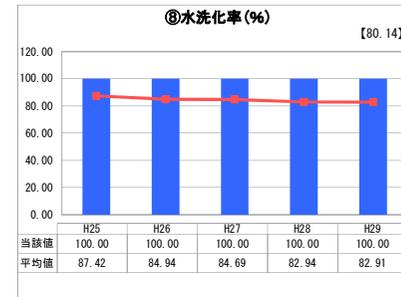
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

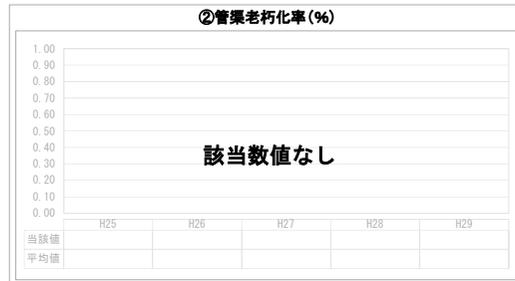


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営については、維持管理の委託や、専任の職員を置かず人件費を抑制するなどしながら、農業集落排水と一体的に経営を行うことで経費を抑えている。

収益的収支比率、施設利用率、水洗化率は、100%となっているものの、小規模なこともあり経費の回収率が平均を下回り、汚水処理原価が高くなってしまっている状況にある。

また、農業集落排水とのバランスを考慮した料金体系となっているため、平成30年度に料金改定を行うこととしている。

2. 老朽化の状況について

平成7年度の供用開始から20年以上が経過しているが、管理を委託しており、定期的に点検を行うことにより大きな故障を防止している。

今後も定期的な点検を行い、適正な運転を行いながら、修繕など維持管理に努め施設の長寿命化を図っていく。

全体総括

農業集落排水と同様に料金改定の検討を行い、平成30年度に改定し、経費回収率を上げることで経営の安定化につなげていく。

また、定期的な点検により、適正な維持管理に努め施設の長寿命化を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。